


# 基本方針Ⅱ

## 【家庭教育】

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	家庭教育のサポーター育成					コード	Ⅱ - 1 - (1) - ①					
SDGs						事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略					
求める成果	長期成果											
	中期成果											
	短期成果											
国土強靱化計画 リスクシナリオ												
事業期間	S57(1982)年度	～	R7(2025)年度		会計	一般	款	9	項	4	目	1
担当課	生涯学習課	主管課等長	西口 武雄	予算科目	会計		款		項		目	
関係課				会計		款		項		目		
事業内容	家庭教育通信の発行											
対象	市内保育園、幼稚園及び小学校に通う子どもの保護者											
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他											
計画期間中の 主な取組	家庭教育通信の発行及び市ホームページへの掲載											

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	家庭教育通信の発行及び市ホームページへの掲載（2回）	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト（Do②）

（千円）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	51	33	30	39	34	35
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
	一般財源	51	33	30	39	34	35
正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費	C	1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
総コストD=A+C		D	1,396	1,431	1,509	1,518	1,716
うち人件費（正職員+会計年度）			1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
市民1人コストD/人口（円）			22.25	22.83	24.20	24.40	24.32
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅱ - 1 - -1 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	家庭教育通信の発行回数	回	目標	2	2	2	2	2	家庭教育通信を発行した合計回数	
			実績	3	2	2	2			
	種別	分類	達成率	150.0	100.0	100.0	100.0	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			465.3	715.7	754.7	756.7	-	コスト効率	低下
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	家庭教育に関する情報を目に触れる機会を広く設けることが必要。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	市ホームページに掲載することで、保護者だけでなく、より多くの市民に家庭教育の情報を提供することができた。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	家庭教育講座の講師に執筆を依頼することで、さらに知識を深める機会を提供することができた。
	受益者負担	求めることができない	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）	
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等		
改善により期待される効果		

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	家庭教育事業				コード	Ⅱ - 2 - (1) - ①									
SDG s					事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果														
	中期成果														
	短期成果														
国土強靱化計画 リスクシナリオ															
事業期間	S57(1982)年度 ~ R7(2025)年度				会計										
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄				予算科目	会計	款 項 目								
関係課					会計	款 項 目									
事業内容	家庭教育講座や就学前健診時の子育て講演会の開催、家庭教育通信の発行														
対象	子育て・家庭教育に興味・関心がある市民														
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他														
計画期間中の 主な取組	就学前健診時における家庭教育講座の実施 子育て・家庭教育に興味・関心がある市民を対象とした定期的な家庭教育講座の実施 家庭教育通信の発行 指定管理者による各センターでの子育て講座の実施														

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	就学前健診時における家庭教育講座（9校） 家庭教育講座（8回）、オンラインでの家庭教育講座の開催（3回/8回） 家庭教育通信の発行（2回） 受講者ニーズの調査（アンケート調査）、参加人数600名	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目
	通年講座だったのを3回の連続講座や1講座だけでも参加しやすいようにした。	

3 コスト (Do②)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	123	290	288	344	272	313
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
	一般財源	123	290	288	344	272	313
正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費	C	1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
総コストD=A+C	D	1,468	1,688	1,767	1,823	1,751	1,994
うち人件費（正職員+会計年度）		1,345	1,398	1,479	1,479	1,479	1,681
市民1人コストD/人口（円）		23.40	26.93	28.34	29.31	28.15	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅱ - 2 - -1 - ①

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	家庭教育講座の開催数	回	目標	19	19	19	19	19	家庭教育講座及び就学前健診時における家庭教育講座の開催回数の合計	
			実績	13	19	19	19			
	種別	分類	達成率	68.4	100.0	100.0	100.0	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				112.9	88.9	93.0	92.2	-	コスト効率	向上
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題	
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	多様性やデジタル化などにより子どもを取り巻く環境が急速に変化していく中で、保護者が情報を得やすく、安全に交流できる場を行政が継続的に設けることが望ましい。	
	市が関与する必要性	計画時と変わらない		
	市民生活・地域社会への影響度	大きい		
	実施主体	市が実施主体となる必要がある		
有効性	対象の範囲	適切である	オンラインを併用した家庭教育講座の開催に加え、YouTubeでの配信、就学前健診時に家庭教育講座を実施することで、広く家庭教育を学ぶ機会を提供することができた。	
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている		
	達成度	目標に近づいていない		
効率性	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	オンライン配信を併用しながら、保護者同士の交流の場としての質の向上を目指す。	
	実施手法・運営主体	適切に設定されている		
	受益者負担	求めることができない		
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている		
施策内 会議での 意見等		業務プロセス（進め方・手続き） 適切に進められている		

6 今後の方向性 (Action)


事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）
	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月）
	<input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等	
改善により期待される効果	

# 基本方針Ⅲ

## 【社会教育】

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

1 事業概要（Plan）

事業名	公民館活動の充実										コード	Ⅲ - 1 - (1) - ①									
SDG s							事業種別	国土強靱化地域計画													
								まち・ひと・しごと創生総合戦略													
求める成果	長期成果																				
	中期成果																				
	短期成果																				
国土強靱化計画 リスクシナリオ																					
事業期間	S40(1965)年度					～	R7(2025)年度					予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	2	
担当課	生涯学習課					主管課等長 西口 武雄					会計		一般	款	9	項	4	目	3		
関係課											会計		一般	款	9	項	4	目	4		
事業内容	地域課題の把握と課題解決のため、市民に対して学習機会の提供を行う。 時代に応じた柔軟性のある事業展開ができるよう、民間力を生かした「指定管理者制度」を導入し、公民館活動の充実を図る。																				
対象	市民																				
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																				
計画期間中の 主な取組	・指定管理者制度を導入し、民間の活力を生かした講座や事業の実施 ・指定管理者に対して、市の施策を踏まえた事業内容の提供																				

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	・西白井公民館 講座：25講座 74回 延べ866人 講座以外の事業：4事業 ・白井駅前公民館 講座：12講座 46回 延べ265人 講座以外の事業：6事業（※内1事業は人数の把握ができなかったもの） ・桜台公民館 講座：16講座 51回 延べ375人 講座以外の事業：6事業 ・学習等供用施設 講座：32講座 59回 延べ1,170人 講座以外の事業：12事業 ・青少年女性センター 講座：11講座 25回 延べ253人 講座以外の事業：1事業																			
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目									

3 コスト（Do②）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	92,183	92,205	93,174	91,152	91,152	93,890
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他	29	174	174	172	92	29
	一般財源	92,154	92,031	93,000	90,980	91,060	93,861
正職員	人数	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	人件費	C	3,363	3,496	3,699	3,699	4,204
総コストD=A+C		D	95,546	95,701	96,873	94,851	98,094
うち人件費（正職員+会計年度）			3,363	3,496	3,699	3,699	4,204
市民1人コストD/人口（円）			1,522.76	1,526.50	1,553.34	1,524.49	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅲ - 1 - -1 - ①

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	多種多様な学習講座の開催（5施設）		回	目標	90	91	92	93	95	公民館や公民館類似施設が実施した講座の回数の合計
				実績	80	86	86	96		
	種別	分類	達成率	88.9	94.5	93.5	103.2	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			1,194.3	1,112.8	1,126.4	988.0	-	コスト効率	向上
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）


項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二重・実施意義	計画時と変わらない	広く市民に生涯学習の機会を提供する取組であることから必要性は継続してあるが、5館の講座延べ参加人数2,929人が人口62,364人に占める割合が4.7%であることから市民生活・地域社会への影響度は小さいと判断した。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	小さい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	講座実施回数実績が目標値を上回った為、目標は達成したを選択した。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	指定管理者による運営が行われるとともに、各館とも創意工夫を凝らし講座や事業を概ね計画通りに実施していることから適切に進められている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内 会議での 意見等			

6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）		
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他	（実施時期： 年 月）
改善内容等			
改善により期待される効果			

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

1 事業概要 (Plan)

事業名	社会教育環境の整備					コード	Ⅲ - 2 - (1) - ①							
SDG s						事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略							
求める成果	長期成果													
	中期成果													
	短期成果													
国土強靱化計画 リスクシナリオ														
事業期間	S40(1965)年度		～	R7(2025)年度		会計	一般	款	9	項	4	目	2	
担当課	生涯学習課		主管課等長		西口 武雄	予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	3
関係課						会計	一般	款	9	項	4	目	4	
事業内容	市民が気軽に地域交流の場に参加できる機会を提供できるように、公民館を利用している社会教育関係団体やサークル、自治会、指定管理者、行政などが連携し環境を整える。													
対象	市民													
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他													
計画期間中の主な取組	・公民館を管理運営している指定管理者や地域で活動している団体等が協力し、交流事業を実施。													

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	主な交流事業内容 ・西白井公民館 ともしびのタペイン白井、公民館利用者連絡協議会、西白井複合センターまつり ・白井駅前公民館 白井駅前センターフェスティバル、地域懇談会（利用団体連絡会）、白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト「鎌倉」、駅前ボランティア ・桜台公民館 桜台センター利用者連絡会、令和6年度さくセンフェスタ、地域イズム2024、 ・宇宮等供用施設 第34回国土センターフェスティバル、美化交流会、シニア食堂、ふじっぴダイニング ・青少年女性センター 福祉センターフェスティバル												
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目						その他改善項目						

3 コスト (Do②)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	92,183	92,205	93,174	91,152	91,152	93,890
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他	29	174	174	172	92	29
	一般財源	92,154	92,031	93,000	90,980	91,060	93,861
正職員	人数	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	人件費	C	3,363	3,496	3,699	3,699	4,204
総コストD=A+C	D	95,546	95,701	96,873	94,851	94,851	98,094
うち人件費（正職員+会計年度）		3,363	3,496	3,699	3,699	3,699	4,204
市民1人コストD/人口（円）		1,522.76	1,526.50	1,553.34	1,524.49	1,524.49	
受益者負担率B/D（%）							

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	地域交流の場の提供 (5施設)	回	目標	11	12	13	14	15	各施設で地域交流ができる事業の実施回数の合計	
			実績	11	14	16	15			
	種別	分類	達成率	100.0	116.7	123.1	107.1	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			8,686.0	6,835.8	6,054.5	6,323.4	-	コスト効率	低下
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	地域コミュニティの希薄化が進んでいる中、指定管理者及び地域団体、地域住民の交流の機会が必要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	各地域の状況に合わせて、地域交流の方法を工夫し、市の施策に合わせた事業も展開していることから、有効性は高い。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	指定管理者や地域のボランティア団体などが中心となって話し合い、地域交流の場の提供を計画的に実施していることから、効率性は高い。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内 会議での 意見等			

6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 （ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了 （ 年度 ）	
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定 （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等） （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し （実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他 （実施時期： 年 月）
改善内容等		
改善により期待される効果		

事業コード Ⅲ - 2 - -1 - ①

# 基本方針Ⅳ

【生涯学習】



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート（重点戦略事業）

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	放課後子ども教室事業										コード		Ⅳ - 1 - (1) - ①									
SDG s	<div><div>4</div><div>質の高い教育をみんなに</div><div></div></div>										事業種別	○ 国土強靱化地域計画										
												○ まち・ひと・しごと創生総合戦略										
求める成果	長期成果		子育てや教育に関する不安が軽減され、地域全体で安心して子育てや教育ができる。 ⇒白井で子育てしたいと思う人が増加し、年齢バランスを維持できるまちになる。																			
	中期成果		親と子が家庭以外で地域に安心して相談し、過ごせる場所がある。																			
	短期成果		子どもが放課後を安心して安全に過ごすことができる居場所ができる。																			
国土強靱化計画																						
リスクシナリオ																						
事業期間	H20(2008)年度		～	R7(2025)年度		予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	1								
担当課	生涯学習課		主管課等長		西口 武雄		会計		款		項		目									
関係課							会計		款		項		目									
事業内容	小学校の余裕教室等を活用して、コーディネーターが企画したカリキュラムに沿って、子ども達が異学年の子ともや地域の大人など様々な人と関わりながら、多様な体験活動や交流活動を実施する放課後子ども教室を運営する。																					
対象	市内小学校に通う児童																					
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の主な取組	放課後子ども教室の運営【R4（2022）年度～R7（2025）年度】 放課後子ども教室の新規開室準備【R4（2022）年度～R7（2025）年度】																					

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	市内小学校の5箇所（白井第二小学校、大山口小学校、池の上小学校、白井第一小学校、桜台小学校）で放課後子ども教室を運営。 令和7年度から七次台小学校で新規開設を行うため、学校やその他関係機関と調整を行った。 白井市放課後子ども総合プラン行動計画に沿って令和8年度以降の事業拡大等に係る準備を行った。									
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目					その他改善項目				
	本事業を学童保育所を運営している事業者へ委託化することで、民間事業者が持つ事業運営の知識や技術を活用し、より充実した事業を実施することができた					官民連携の取り組みについて、NECグリーンロケッツによるラグビー体験等を実施できた。また、地域交流としては地域住民で組織された団体等に協力いただいた				

3 コスト (Do②)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	1,646	3,205	7,201	10,309	7,912	14,067
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金				1,643	2,577	3,533
	受益者負担	B	30	25	36	75	75
	地方債						
	その他		891				
	一般財源		725	3,180	7,165	8,591	10,459
正職員	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費	C	6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
総コストD=A+C	D	8,371	10,197	14,598	17,706	15,309	22,474
うち人件費（正職員+会計年度）		6,725	6,992	7,397	7,397	7,397	8,407
市民1人コストD/人口（円）		133.41	162.65	234.08	284.58	246.05	
受益者負担率B/D（%）		0.36	0.25	0.25	0.42	0.21	0.33

事業コード Ⅳ - 1 - -1 - ①

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	教室開設数	校	目標	3	3	4	5	6	放課後子ども教室実施校数	
			実績	3	3	4	5			
	種別	活動指標	分類	【創】	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	-
指標1 単位当たりコスト（千円）				2,790.3	3,399.0	3,649.5	3,061.8	-	コスト効率	向上
②			目標							
			実績							
	種別		分類		達成率	-	-	-	-	-
指標1 単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ース・実施意義	計画時と変わらない	全児童に家庭環境に左右されず放課後に安心して様々な体験や活動が行える場を提供するとともに、希薄化している地域と児童のつながりを強化するための一助とするため、本事業は必要性がある。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	令和7年度に七次台小学校で本事業を新設するために関係機関と調整を行った。また、令和8年度は清水口小学校での新設を予定しているため関係機関と調整を行った。清水口小学校については引き続き調整を行っていく。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	より継続的な事業運営を行うため学童保育所を運営している事業者へ本事業の運営を委託する。なお、委託する際は地域住民と児童の交流が希薄化しないよう工夫する必要がある
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等		・今後も官民連携の取り組みを行う	


6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月） <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月） <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等	学童保育所と異なる事業者運営に委託した際、本事業の施設利用に制限をかけることになった。より充実したプログラムを提供するためには本事業の施設利用に制限をかけることなく取り組む必要がある。
改善により期待される効果	学童保育所と同一の事業者に委託することで、本事業の施設利用に制限をかけることなく、より充実したプログラムを参加児童へ提供することができる。



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

1 事業概要 (Plan)

事業名	白井市民大学校事業										コード	Ⅳ - 2 - (1) - ①							
SDG s										事業種別		国土強靱化地域計画							
											○	まち・ひと・しごと創生総合戦略							
求める成果	長期成果	地域住民主体で地域を守り、支え合い、健康に暮らせる環境が整う。 ⇒住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちになる。																	
	中期成果	まちづくりに対する意識が高まり、地域住民主体の地域活動が活性化する。																	
	短期成果	地域活動に意欲を持つ市民が増える。																	
国土強靱化計画 リスクシナリオ																			
事業期間	H17(2005)年度		～	R7(2025)年度		予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	1					
担当課	生涯学習課		主管課等長		西口 武雄		会計		款		項		目						
関係課							会計		款		項		目						
事業内容	目的にあわせ2学部を設け体系的なプログラムを組み講座を開催する。講座プログラムは、参加交流型の学習手法を取り入れて実施する。																		
対象	いきいきシニア学部：市内在住60歳以上      ささえあい発見学部：市内在住30歳以上																		
手法	■ 直営    □ 全部委託    □ 一部委託    □ 補助金等    □ 協働    □ その他																		
計画期間中の 主な取組	白井市民大学校講座の開催【R4（2022）年度～R7（2025）年度】																		

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	いきいきシニア学部 講座回数18回（受講者数 24名） ささえあい発見学部 講座回数17回（受講者数 19名）	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目
	ささえあい発見学部（目標：地域活動）は、地域づくりコーディネーターを招いた講座を3回実施し、地域や行政に関心を持つ方を増やすことができた。	

3 コスト (Do②)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	414	393	466	545	470	572
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B	104	125	250	225	250
	地方債						
	その他						
	一般財源		310	268	216	295	322
正職員	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費	C	6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
総コストD=A+C		D	7,139	7,385	7,863	7,942	8,979
うち人件費（正職員・会計年度）			6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
市民1人コストD/人口（円）			113.78	117.80	126.08	127.65	126.44
受益者負担率B/D（%）			1.46	1.69	3.18	3.15	2.78

事業コード Ⅳ - 2 - -1 - ①

評価対象年度 R 6 （2024）年度

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	ボランティア、市民活動へ 実施意欲を持つ人の割合	%	目標	60	60	70	70	80	ボランティア、市民活動へ 実施意欲を持つ人 ÷ 受講人数×100	
			実績	43	61	63	70			
	種別	成果指標	分類	【創】	達成率	71.7	101.7	90.0	100.1	-
	指標1単位当たりコスト（千円）			166.0	121.1	124.8	112.2	-	コスト効率	向上
②	地域住民・市民団体を講師 として開催した講座数	%	目標	30	30	30	30	30	地域市民・市民団体を 講師として開催した講 座数÷講座数×100	
			実績	29	26	30	29			
	種別	活動指標	分類	達成率	96.7	86.7	100.0	95.0	-	
	指標1単位当たりコスト（千円）			246.2	284.0	264.7	276.0	-	コスト効率	低下

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	各公民館自主事業及び各課と重複している講座や受講生アンケートにより、講座見直しを行っているが、団体を立ち上げる等の地域活動には繋がっていないため、市民大学のあり方を検討する必要がある。
	市が関与する必要性	薄れている	
	市民生活・地域社会への影響度	小さい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	卒業生が立ち上げた団体を紹介するなど、幅広く学習の機会を提供するとともに、地域活動の啓発を行っている。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に影響しない	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	職員による講座や、市民活動団体による座学やフィールドワーク講座を行うなど、地域に密着した学習を提供できている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等	まちサボや各課と連携して事業内容を充実させること。		


6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	■ 改善して継続 □ 現状のまま継続 □ 休廃止（年度） □ 終了（年度）		
	■ 対象の再設定（実施時期： R8（2026）年 4 月） ■ 事業・サービス水準の見直し（実施時期： R6（2024）年 4 月） □ 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月） □ 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月） □ 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月） □ 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月） □ 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月） □ 特定財源の見直し（実施時期： 年 月） □ その他（実施時期： 年 月）		
改善内容等	受講生アンケートの結果等をもとに講座内容を改善し、事業を実施する。 また求める成果と事業内容にミスマッチが起きているため、第6次総合計画に向けて市民大のあり方（事業の目的、学部構成、講座内容等）の検討を引き続き行っていく。		
改善により期待される効果	受講生の増加 セカンドライフに向けた、仲間づくりや生きがいづくりを兼ねた学習の場の創出		

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	立春式事業				コード	Ⅳ - 2 - (1) - ②									
SDG s					事業種別	国土強靱化地域計画									
						まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果														
	中期成果														
	短期成果														
国土強靱化計画 リスクシナリオ															
事業期間	S39(1964)年度 ~ R3(2021)年度				予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	1		
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄					会計		款		項		目			
関係課						会計		款		項		目			
事業内容	市内各中学校長及び担当者で構成された立春式実行委員会と協議を図るとともに、各中学校で実施する体験学習や記念式典などの事業に必要な経費を補助する。														
対象	市内中学校2年生														
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他														
計画期間中の 主な取組	・各中学校での体験活動及び記念式典の実施 ・立春式事業補助金の交付 ・立春式事業のあり方の検討														

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況		
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト (Do②)

(千円)

区分		R3 (2021) 年度決算	R4 (2022) 年度決算	R5 (2023) 年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	R6 (2024) 年度当初予算	R7 (2025) 年度計画
事業費計	A	335	0				
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
	一般財源	335	0	0	0	0	0
正職員	人数	0.10	0.00				
	人件費	C	673	0	0	0	0
総コストD=A+C		D	1,008	0	0	0	0
うち人件費（正職員+会計年度）			673	0	0	0	0
市民1人コストD/人口（円）			16.06	0.00	0.00	0.00	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 2 - -1 - ②

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
① 実施校	校	目標		5					立春式事業を実施した 学校数	
		実績		5						
	種別	分類	達成率	100.0	-	-	-	-		
指標1 単位当たりコスト（千円）				201.5	-	-	-	-	コスト効率	-
②		目標								
		実績								
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1 単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	薄れている	
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	小さい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	縮小する必要がある	
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいていない	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	
	受益者負担	求めることができない	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	改善の余地がある	
施策内 会議での 意見等			

6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 R3（2021）年度		
	<div><input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）</div>		
改善内容等			
改善により期待される効果			

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	図書館サービス推進事業										コード	Ⅳ - 2 - (2) - ①									
SDG s	<div><div>3</div><div>4</div><div>5</div><div>8</div></div>										事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																				
	中期成果																				
	短期成果																				
国土強靱化計画 リスクシナリオ																					
事業期間	H6(1994)年度 ~ R7(2025)年度										会計	一般	款	9	項	4	目	6			
担当課	文化センター 主管課等長 高花 宏行										予算科目	会計		款		項		目			
関係課	文化センタープラネタリウム館 健康課										会計		款		項		目				
事業内容	図書館の利用者層・利用目的に対応したサービスの調査・研究を行い、利用者のニーズに沿ったサービスを提供する。また、社会情勢の変化に対応した機器の導入等を検討する。																				
対象	乳幼児～一般市民																				
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																				
計画期間中の 主な取組	・レファレンスサービスの提供 ・障がい者、高齢者サービスの提供 ・利用者ニーズの調査・研究及び社会情勢の変化に対応した機器導入等の検討										・児童、青少年サービスの提供										

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	開館日数：290日 入館者数：157,058人(542人/日) 貸出点数：(個人)355,066点(1,224点/日)、(団体)14,081点									
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目					その他改善項目				
	ICT技術を活用したサービスの提供を検討している。					運営にあたる人の配置・蔵入に関して、近隣図書館の運営方法を調査・研究した。				

3 コスト（Do②）

(千円)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	37,173	37,939	39,895	40,369	42,782	43,857
	うち会計年度任用職員等経費	31,221	31,413	34,196	34,068	36,901	38,213
	国県支出金	0	0	0	0	0	0
	受益者負担	9	62	102	1	81	1
	地方債	0	0	0	0	0	0
財源内訳	その他	81	107	176	173		0
	一般財源	37,083	37,770	39,617	40,195	42,701	43,856
正職員	人数	5.50	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00
	人件費	C 36,988	27,968	29,588	29,588	22,191	25,221
総コストD=A+C		D 74,161	65,907	69,483	69,957	64,973	69,078
うち人件費（正職員+会計年度）		68,209	59,381	63,784	63,656	59,092	63,434
市民1人コストD/人口（円）		1,181.93	1,051.27	1,114.15	1,124.39	1,044.28	
受益者負担率B/D（%）		0.01	0.09	0.15	0.00	0.12	0.00

事業コード Ⅳ - 2 - -2 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	図書館レファレンス(資料案内・参考調査)数	件	目標	4,000	4,100	4,200	4,300	4,330	図書館司書が利用者の課題を解決するために調査した指標	
			実績	3,902	3,797	3,718	3,984			
	種別	分類	達成率	97.6	92.6	88.5	92.7	-	コスト効率	向上
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-	コスト効率	-
指標1単位当たりコスト（千円）				19.0	17.4	18.7	16.3	-	コスト効率	向上

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二一ス・実施意義	計画時と変わらない	学校図書館や市内の図書室と連携し、市民の生涯学習を支援する。さらに図書館内の環境を整え、安全な利用環境作りに努める。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	インターネットに接続できる端末とWi-Fi環境を整え、自宅やオフィス、学校とは異なる第3の居場所の提供に努める。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	ICT技術を活用するなど、業務の簡略化をしながらサービスの質を維持するよう努める。
	受益者負担	求めることができない	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	改善の余地がある	
施策内会議での意見等			

6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	■ 改善して継続 □ 現状のまま継続 □ 廃止（ 年度 ） □ 終了（ 年度 ）		
	→	□ 対象の再設定	（実施時期： 年 月）
		□ 事業・サービス水準の見直し	（実施時期： 年 月）
		□ 他事業との連携・統合	（実施時期： 年 月）
改善内容等	→	■ 業務プロセスの改善（スケジュール等）	（実施時期： 年 月）
		□ 民間委託を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		□ 市民等との協働を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		□ 受益者負担の見直し	（実施時期： 年 月）
改善により期待される効果	→	□ 特定財源の見直し	（実施時期： 年 月）
		□ その他	（実施時期： 年 月）
		貸出・返却・予約の受け取りを市民自らが行えるようなICTの活用を検討する。	
		利用者のプライバシーへの配慮を行い、かつ業務改善、作業効率上がる。	

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	図書館資料整備事業			コード	Ⅳ - 2 - (2) - ②											
SDGs					事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略										
求める成果	長期成果															
	中期成果															
	短期成果															
国土強靱化計画 リスクシナリオ																
事業期間	H6(1994)年度 ~ R7(2025)年度				会計	一般	款	9	項	4	目	6				
担当課	文化センター 主管課等長 高花 宏行				予算科目	会計		款		項		目				
関係課					会計		款		項		目					
事業内容	図書・雑誌・新聞などの資料の収集・整理・保存・提供を行う。また、データベースなど最新の情報ツールを提供するとともに、電子書籍の導入や郷土資料のデジタル画像化等を検討する。															
対象	乳幼児～一般市民															
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他															
計画期間中の 主な取組	・図書・雑誌・新聞などの資料の収集（購入・寄贈受入）及び整理・保存・提供 ・電子書籍導入の検討 ・郷土資料のデジタル画像化等の検討															

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	図書受入冊数：10,594冊 雑誌受入タイトル数：182誌 新聞受入タイトル数：22紙 視聴覚資料受入点数：102点 データベース：4タイトル	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目
	蔵書管理に有効なICTの活用を検討している。	

3 コスト（Do②）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	22,524	22,781	23,092	23,017	22,880	23,007
	うち会計年度任用職員等経費	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0
	受益者負担 B	30	24	48	1	28	1
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	22,494	22,757	23,044	23,016	22,852	23,006
正職員	人数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	人件費 C	13,450	13,984	14,794	14,794	14,794	16,814
総コストD=A+C	D	35,974	36,765	37,886	37,811	37,674	39,821
うち人件費（正職員+会計年度）		13,450	13,984	14,794	14,794	14,794	16,814
市民1人コストD/人口（円）		573.34	586.43	607.50	607.72	605.52	
受益者負担率B/D（%）		0.08	0.07	0.13	0.00	0.07	0.00

事業コード Ⅳ - 2 - -2 - ②

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①		目標								
		実績								
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-
②		目標								
		実績								
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	市民の学習を支援するには、多くの図書が必要である。市内に書店がないことから、図書館において収集・整理・保存することは重要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	複本数を抑えて、多くの分野の図書を購入できるように努める。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	毎年計画的に資料購入を行い、市民要求にこたえるように努める。ＩＣＴを活用した新媒体(電子書籍等)について調査・研究する。
	受益者負担	求めることができない	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	改善の余地がある	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	■ 改善して継続 □ 現状のまま継続 □ 休廃止 ( 年度 ) □ 終了 ( 年度 )				
	→	□ 対象の再設定	(実施時期：	年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期：	年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期：	年	月)
		■ 業務プロセスの改善（スケジュール等）	(実施時期：	年	月)
		□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		□ 受益者負担の見直し	(実施時期：	年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期：	年	月)
		□ その他	(実施時期：	年	月)
改善内容等	蔵書管理に有効なICTの活用を検討する。				
改善により期待される効果	図書館業務の作業効率上がり、利用者サービスが向上する。				



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

1 事業概要（Plan）

事業名	プラネタリウム館運営事業										コード	Ⅳ - 2 - (3) - ①						
SDGs							事業種別	国土強靱化地域計画										
								まち・ひと・しごと創生総合戦略										
求める成果	長期成果																	
	中期成果																	
	短期成果																	
国土強靱化計画 リスクシナリオ																		
事業期間	H6(1994)年度		～	R7(2025)年度			会計	一般	款	9	項	4	目	7				
担当課	文化センター		主管課等長		高花 宏行		予算科目	会計		款		項		目				
関係課	生涯学習課						会計		款		項		目					
事業内容	市民のライフステージや客層に応じた特色ある番組を制作・放映するとともに、学校や幼稚園・保育園などと連携し、教育課程、保育課程に応じた放映及び講座等を行う。白井天文同好会と協働で観望会を開催する。																	
対象	白井市内外の市民																	
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																	
計画期間中の 主な取組	・白井市として特色ある番組の制作及び放映 ・学校や幼稚園・保育園と連携した番組の制作及び放映 ・天文観望会・講座、講演会の開催																	

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	当館が開館30周年を迎えたことを記念し、番組やポスターの作成、イベントの企画・放映を行った。その1つ「謎解き」放映では、普段来館割合が少ない20代から30代の方や、謎解き目当ての遠方からの参加者が多く見受けられ、十分に成果を上げることができた。放映回数532回 来館者数16,213人			
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目		その他改善項目	

3 コスト（Do②）

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	11,704	11,839	12,593	14,351	13,420	10,388
	うち会計年度任用職員等経費						6,503
	国県支出金						
	受益者負担	B	1,854	2,411	2,514	2,300	2,400
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源		9,850	9,428	10,079	12,051	7,988
正職員	人数		1.80	1.80	1.80	2.00	2.00
	人件費	C	12,105	12,586	13,315	13,315	14,794
総コストD=A+C		D	23,809	24,425	25,908	27,666	27,202
うち人件費（正職員+会計年度）			12,105	12,586	13,315	13,315	14,794
市民1人コストD/人口（円）			379.46	389.59	415.43	444.66	453.47
受益者負担率B/D（%）			7.79	9.87	9.70	8.31	8.82

事業コード Ⅳ - 2 - -3 - ①

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	来館者数	人	目標	18,000	20,000	20,000	20,000	20,000	プラネタリウム事業に参加した人数	
			実績	13,334	17,383	16,301	16,213			
	種別	成果指標	分類	達成率	74.1	86.9	81.5	81.1		
指標1単位当たりコスト（千円）				1.8	1.4	1.6	1.7	-	コスト効率	低下
②	放映観覧満足度	%	目標	90	90	90	90	90	放映観覧後のアンケートで、おもしろい(満足)と回答した割合	
			実績	98	99	97	97			
	種別	成果指標	分類	達成率	108.9	110.0	107.8	107.8		
指標1単位当たりコスト（千円）				242.9	246.7	285.2	290.9	-	コスト効率	低下

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二重・実施意義	計画時と変わらない	小さな子どもや妊婦、高齢者など幅広い市民が等しく、継続的に天文に親しみ、学ぶ機会を得るには、身近な施設で様々な事業を展開する必要がある。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	各ライフステージに応じた様々な事業を行い、幅広い年代に生涯学習、学校教育の場を提供している。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	職員による、白井独自の特色ある事業を展開している。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内 会議での 意見等			

6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	■ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □ 休廃止（ 年度 ） □ 終了（ 年度 ）		
	→	<div><input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月） <input checked="" type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）</div>	
改善内容等	令和8年度より、千葉県市町村職員共済組合の遊園施設入園券の入園券のみで利用できる施設として登録するよう進めている。		
改善により期待される効果	千葉県市町村共済組合員及びその家族が、遊園施設入園券を使用し、無料でプラネタリウムの放映を見ることができるようになるため、来館者数の増加が期待される。		

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業										コード	Ⅳ - 3 - (1) - ①				
SDGs	<div><div>4</div><div>質の高い教育を みんなに</div></div>							事業種別	国土強靱化地域計画 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略							
求める成果	長期成果	地域住民主体で地域を守り、支え合い、健康に暮らせる環境が整う。 ⇒住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちになる。														
	中期成果	地域に様々な活動の場が増え、地域コミュニティが活性化する。														
	短期成果	市民がスポーツを通じて健康づくりや体力づくりに取り組む。														
国土強靱化計画 リスクシナリオ																
事業期間	平成15(2003) 年度	～	令和7（2025） 年度	予算科目		会計	一般	款	9	項	5	目	1			
担当課	生涯学習課	主管課等長	西口 武雄			会計		款		項		目				
関係課						会計		款		項		目				
事業内容	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、地域スポーツの拠点となるスポーツクラブを、地域住民による自主的で自立したクラブで運営する。															
対象	総合型地域スポーツクラブ・市民															
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他															
計画期間中の 主な取組	・総合型地域スポーツ活動場所の確保【R3（2022）年度～R7（2025）年度】 ・スポーツ指導者派遣、養成支援【R3（2022）年度～R7（2025）年度】															

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	総合型地域スポーツ活動場所の確保 総合型地域スポーツクラブの紹介やPR （広報しろいや市HPでの活動紹介、本庁舎1階デジタルサイネージや庁舎内でのポスター掲示、健康診断の結果が良くない市民へ配布するチラシでの入会案内掲載等（健康課と連携））															
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目								その他改善項目							

3 コスト（Do②）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	16	1	1	29	0	29
うち会計年度任用職員等経費							
国県支出金							
受益者負担	B						
地方債							
その他							
一般財源		16	1	1	29	0	29
正職員	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費	C	673	699	740	740	841
総コストD=A+C	D	689	700	741	769	740	870
うち人件費（正職員・会計年度）		673	699	740	740	740	841
市民1人コストD/人口（円）		10.97	11.17	11.88	12.35	11.89	
受益者負担率B/D（％）							

事業コード Ⅳ - 3 - -1 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	活動を支援しているクラブ数	団体	目標	5	5	5	5	5	総合型地域スポーツクラブ数	
			実績	5	5	5	5			
	種別	活動指標	分類	達成率		100.0	100.0	100.0	100.0	-
指標1 単位当たりコスト（千円）				137.7	140.0	148.1	147.9	-	コスト効率	向上
②	クラブ登録者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	クラブ会員の人数	
			実績	768	776	794	775			
	種別	成果指標	分類	達成率		76.8	77.6	79.4	77.5	-
指標1 単位当たりコスト（千円）				0.90	0.90	0.97	0.95	-	コスト効率	向上

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	定期的な活動をするためには、市が活動場所を確保する必要がある。 幅広い世代の会員がスポーツを楽しめるよう、多種多様な種目や環境を提供する。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	指導者の高齢化により活動が困難となることが予想されるため、各クラブと連携し、PR活動による指導者確保をする必要がある。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	昨年度より会員は減少しているため、引き続き会員の増加に向け、各クラブで連携を取り、クラブ主催のイベントや広報などでのPR活動を行う必要がある。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	改善の余地がある	
施策内会議での意見等		健康課等と連携し、必要としている方へ情報提供を行う。	

6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止   （   年度   ） <input type="checkbox"/> 終了   （   年度   ）			
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期：   年   月)	
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	(実施時期：   年   月)	
		<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期： R7 (2025) 年 4 月)	
改善内容等	幅広い世代の会員がスポーツを楽しめるよう、スポーツ推進委員協議会と連携し、ニュースポーツ体験会を開催する。			
改善により期待される効果	多種多様な種目や環境を提供することで、会員数の増加が期待できる。			

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	各種スポーツ大会開催事業					コード	Ⅳ - 3 - (1) - ②						
SDGs	<div>4 質の高い教育をみんなに</div>					事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略						
求める成果	長期成果												
	中期成果												
	短期成果												
国土強靱化計画 リスクシナリオ													
事業期間	～ R7(2025)年度					会計	一般	款	9	項	5	目	1
担当課	生涯学習課	主管課等長	西口 武雄	予算科目	会計		款		項		目		
関係課				会計		款		項		目			
事業内容	各種スポーツ大会を開催する												
対象	市民、その他												
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他												
計画期間中の 主な取組	各種スポーツ大会を開催する 各市民大会（15競技、参加者数は不明）、梨マラソン大会（エントリー数2,723人、完走者2,460人）、印旛郡 市民スポーツ大会（選手304人）、印旛郡市駅伝競走大会（選手12人）の実施												

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	各市民大会、梨マラソン大会、印旛郡市スポーツ大会、印旛郡市駅伝競走大会を実施した。	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト (Do②)

(千円)

区分		R3 (2021) 年度決算	R4 (2022) 年度決算	R5 (2023) 年度決算	R6 (2024) 年度当初予算	R6 (2024) 年度決算	R7 (2025) 年度計画
事業費計	A	317	2,817	2,953	3,592	3,274	4,811
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源	317	2,817	2,953	3,592	3,274	4,811
正職員	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費	C	6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
総コストD=A+C		D	7,042	9,809	10,350	10,989	13,218
うち人件費（正職員+会計年度）			6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
市民1人コストD/人口（円）			112.23	156.46	165.96	176.62	171.51
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 3 - -1 - ②

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①			目標						コスト効率	-
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-		
②			目標						コスト効率	-
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-		

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市民スポーツの普及振興・健康と体力保持促進を図るとともに、各種大会を開催することにより、競技力の向上を図るにも必要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	小さい	
	実施主体	他団体が実施している	
有効性	対象の範囲	適切である	各種スポーツ大会を開催することにより、市民スポーツ普及振興・健康増進が図れるもので、有効性は高い。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	各種スポーツ大会の開催は、市やスポーツ団体等で協働ができています。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			

6 今後の方向性 (Action)


事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）	
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等		
改善により期待される効果		



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	文化を支える人材育成支援事業										コード	Ⅳ - 4 - (1) - ①										
SDGs												事業種別	国土強靱化地域計画									
													まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																					
	中期成果																					
	短期成果																					
国土強靱化計画 リスクシナリオ																						
事業期間	H23(2011)年度		～	R7(2025)年度				会計	一般	款	9	項	4	目	1							
担当課	生涯学習課		主管課等長		西口 武雄		予算科目	会計		款		項		目								
関係課							会計		款		項		目									
事業内容	市民で組織した白井市文化団体協議会の活動を支援する。																					
対象	白井市文化団体協議会																					
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の 主な取組	文化振興を協働する市民で組織した「白井市文化団体協議会」の活動への支援（人材育成・団体の自立化・運営の安定化への支援・補助金交付）【R4（2022）年度～R7（2025）年度】																					

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	白井市文化団体協議会による文化の情報発信 ・「文化と平和、祈りのコンサート」（2/8、来場者数379名、スタンブラリー参加者200名） ・アウトリーチ51件実施・情報誌「紙ひこうき」発行・配布																	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目									その他改善項目								

3 コスト (Do②)

(千円)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	133	572	405	1,104	582	904
財源内訳	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
	一般財源	133	572	405	1,104	582	904
正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費	C	1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
総コストD=A+C		D	1,478	1,970	1,884	2,583	2,585
うち人件費（正職員+会計年度）			1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
市民1人コストD/人口（円）			23.56	31.43	30.22	41.52	33.13
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 4 - -1 - ①

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	市の文化振興を図る上で、市の文化・芸術を支える組織として設立された白井市文化団体協議会との連携・協働・支援は妥当である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	白井市文化団体協議会への支援を通して市民の自主的な文化芸術活動創造と発展による地域文化振興が図られており、有効性は高い。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	市の文化振興を市ではなく市民団体が主体的に行うことで、効率的に進められている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）	
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等		
改善により期待される効果		

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	市民文化祭開催事業										コード	Ⅳ - 4 - (1) - ②															
SDG s												事業種別	国土強靱化地域計画														
													まち・ひと・しごと創生総合戦略														
求める成果	長期成果																										
	中期成果																										
	短期成果																										
国土強靱化計画 リスクシナリオ																											
事業期間	S31(1956)年度 ~ R7(2025)年度										会計	一般	款	9	項	4	目	1									
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄																		予算科目	会計		款		項		目	
関係課																											
事業内容	白井市民文化祭（一般部門及び児童・生徒を対象とする学校部門）の開催。一般部門は、市民文化祭実行委員会へ補助金を交付して市民との協働で、学校部門は直営で実施。																										
対象	市民・文化団体																										
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																										
計画期間中の 主な取組	白井市民文化祭の開催【R4(2022)年度～R7(2025) 年度】																										

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	第67回白井市民文化祭 日時：令和6年11月1日～11月24日 場所：白井市文化センター 参加人数：11,390人																			
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目									

3 コスト（Do②）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	1,947	2,392	2,410	2,457	2,345	2,639
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他		917	1,090	1,000	1,000	
	一般財源	1,947	1,475	1,320	1,457	1,345	2,639
正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費	C	1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
総コストD=A+C		D	3,292	3,790	3,889	3,936	4,320
うち人件費（正職員+会計年度）			1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
市民1人コストD/人口（円）			52.47	60.46	62.37	63.27	61.47
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 4 - -1 - ②

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	白井市民文化祭参加・来場者数	人	目標	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	市民文化祭各部門（一般部門・学校部門）の来観者数の合計値	
			実績	9,658	10,353	9,612	11,390			
	種別	分類	達成率	113.6	121.8	113.1	134.0	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				0.3	0.4	0.4	0.3	-	コスト効率	向上
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	市民文化祭の目的は市の文化芸術の振興であり、文化祭により市民に向けて情報発信することは文化芸術の振興の上で必要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	文化祭として多彩な行事を行うことは、文化振興のための情報発信を行う上で有効である。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	事業費計上仕分けを受け平成26年度より実行委員会による運営に移行したことで、市の負担は減少しており、効率性は高い。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			




6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止   (   年度   ) <input type="checkbox"/> 終了   (   年度   )				
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	(実施時期：	年	月)
<input type="checkbox"/> その他	(実施時期：	年	月)		
改善内容等					
改善により期待される効果					

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	文化会館管理運営事業										コード	Ⅳ - 4 - (2) - ①										
SDG s												事業種別	国土強靱化地域計画									
													まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																					
	 中期成果																					
	 短期成果																					
国土強靱化計画 リスクシナリオ																						
事業期間	H6(1994)年度		～	R7(2025)年度		予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	9								
担当課	文化センター		主管課等長 高花 宏行		会計			款		項		目										
関係課					会計			款		項		目										
事業内容	文化会館の緞帳、反響版、せり等の舞台設備、マイク、スピーカー、ミキサー等の音響設備及び舞台を照らすライト等の照明設備、舞台備品、ピアノ等の楽器の維持管理やホールの貸出業務を行う。																					
対象	市民																					
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の 主な取組	文化会館なし坊ホール（大ホール）、かおりホール（中ホール）の貸し出し、舞台設備及び音響設備並びに舞台備品の貸し出しを行う。																					

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・大ホール利用人数 42,946人</li><li>・中ホール利用人数 12,842人</li><li>・付帯設備利用件数 150件</li></ul>																		
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目								

3 コスト（Do②）

（千円）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	22,469	25,962	24,606	34,372	34,636	33,538
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他	14,500	15,431	14,500	17,477	17,255	16,640
	一般財源	7,969	10,531	10,106	16,895	17,381	16,898
正職員	人数	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00	2.00
	人件費	C	20,175	20,976	22,191	22,191	14,794
総コストD=A+C		D	42,644	46,938	46,797	56,563	49,430
うち人件費（正職員+会計年度）			20,175	20,976	22,191	22,191	14,794
市民1人コストD/人口（円）			679.64	748.70	750.38	909.11	794.46
受益者負担率B/D（％）							

事業コード Ⅳ - 4 - -2 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二重・実施意義	計画時と変わらない	ホールの貸し出しを通じ、舞台設備等を貸し出し、市が実施主体となって、市民の芸術活動の発表の場を提供できた。利用者の偏りと、利用者数が前年度と同水準で推移したためさらなる利用者数の向上が課題である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	市民が芸術活動を発表できる場として、会館の設備や機能を活用しながら、会館の中心的な役割となる事業の一つを実現することができた。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標を達成している	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	令和6年度の懸案事項であった照明設備及び大ホールの幕地ランナーの修繕を実施し、適切な舞台設備を提供できた。一方で、時期によって稼働にばらつきが見られ、稼働率の平準化を含めた利用促進が課題である。
	受益者負担	求めることができない	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）		
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	（実施時期： 年 月）
改善内容等	→	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	（実施時期： 年 月）
改善により期待される効果	→	<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他	（実施時期： 年 月）

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	文化会館自主事業運営事業										コード	Ⅳ - 4 - (2) - ②										
SDG s												事業種別	国土強靱化地域計画									
													まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																					
	中期成果																					
	短期成果																					
国土強靱化計画 リスクシナリオ																						
事業期間	H6(1994)年度 ~ R7(2025)年度										予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	9			
担当課	文化センター 主管課等長 高花 宏行											会計		款		項		目				
関係課												会計		款		項		目				
事業内容	クラシック、演劇、古典芸能等の催し物を開催し、市民に舞台芸術に触れてもらう機会を提供する。																					
対象	市民																					
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の 主な取組	演劇、演歌、ポピュラーミュージック、クラシックコンサートや古典芸能など、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。																					

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	5回実施：・千葉県警察音楽隊2024 安全・安心コンサート 入場者数：678人・文化会館30周年記念『文化会館バックステージツアー』参加者：38人・昭和歌謡コンサート 入場者数：556人・文化会館30周年記念『ピアノを弾いてみませんか』参加者：19組26人・伊藤順一ピアノリサイタル 入場者数：213人																			
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目									
	行政が事業を行う必要性について、引き続き検討を続ける。																			

3 コスト（Do②）

（千円）

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	956	1,783	3,690	2,408	1,904	2,886
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金			1,546			
	受益者負担	B	671	765	1,289	1,987	2,040
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源						
		285	1,018	855	421	183	846
正職員	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	人件費	C	6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
総コストD=A+C		D	7,681	8,775	11,087	9,805	11,293
うち人件費（正職員+会計年度）			6,725	6,992	7,397	7,397	8,407
市民1人コストD/人口（円）			122.42	139.97	177.78	157.59	149.49
受益者負担率B/D（%）			8.74	8.72	11.63	20.27	18.06

事業コード Ⅳ - 4 - -2 - ②

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	種別	分類	目標						達成率	
			実績							
	指標 1 単位当たりコスト（千円）		達成率	-	-	-	-	-	コスト効率	-
②	種別	分類	目標						達成率	
			実績							
	指標 1 単位当たりコスト（千円）		達成率	-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市が実施主体となり、市民に舞台芸術をより多く、身近に触れてもらう機会を提供できた。課題であった自主事業のあり方については、運営協議会からの提言を受け継続することとする。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	今年度は、会館30周年記念行事や、『ピアノを弾いてみませんか』など新しい試みも行い、子供から高齢者まで対象を広げることができた。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	今年度は、入場料の収入が予算の約8割を達成できた。また、運営協議会から、取り組んできた自主事業運営に関する意見がまとまり、提言が提出された。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			



6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	■ 改善して継続 □ 現状のまま継続 □ 休廃止（ 年度 ） □ 終了（ 年度 ）		
	→	□ 対象の再設定	（実施時期： 年 月）
		■ 事業・サービス水準の見直し	（実施時期： R8 年 3 月）
		□ 他事業との連携・統合	（実施時期： 年 月）
改善内容等	→	□ 業務プロセスの改善（スケジュール等）	（実施時期： 年 月）
		□ 民間委託を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		□ 市民等との協働を導入・拡大	（実施時期： 年 月）
		□ 受益者負担の見直し	（実施時期： 年 月）
改善により期待される効果	→	□ 特定財源の見直し	（実施時期： 年 月）
		□ その他	（実施時期： 年 月）
		文化会館運営協議会から提出された提言を受け、質の高い公演、若者や地域の文化活動の支援につながるような催し物を提供する。	
		今後の自主事業の運営を効果的に実施することができる。	

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	文化財保護・周知事業										コード	Ⅳ - 5 - (1) - ①									
SDGs	 										事業種別	<input type="radio"/> 国土強靱化地域計画 <input type="radio"/> まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果 中期成果 短期成果																				
国土強靱化計画 リスクシナリオ	8-4 地域文化																				
事業期間	S40(1965)年度 ~ R7(2025)年度										会計	一般 款 9 項 4 目 1									
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄										予算科目	会計 款 項 目									
関係課											会計	款 項 目									
事業内容	指定文化財の保存・修理に対する支援を行うとともに、必要な費用の一部を補助する。また、指定文化財の説明看板の設置やパンフレットの刊行により周知するとともに、市民が文化財に親しむ機会として文化財講演会等を開催する。																				
対象	指定文化財・指定文化財所有者・市民																				
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																				
計画期間中の 主な取組	指定文化財保存事業補助金の交付、文化財講演会の開催【R3(2021)年度～R7(2025)年度】説明看板の設置【R3(2021)年度・R7(2025)年度】、パンフレットの刊行【R3(2021)年度・R5(2023)年度・R7(2025)年度】																				

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	指定文化財保存事業補助金の交付 文化財講演会等の開催 参加者72名	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト（Do②）

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	1,442	811	1,471	3,106	3,023	1,067
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源	1,442	811	1,471	3,106	3,023	1,067
正職員	人数	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	人件費	C	2,018	2,098	2,219	2,219	2,522
総コストD=A+C		D	3,460	2,909	3,690	5,325	5,242
うち人件費（正職員+会計年度）			2,018	2,098	2,219	2,219	2,522
市民1人コストD/人口（円）			55.14	46.39	59.17	85.59	84.25
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 5 - -1 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	指定文化財指定件数	件	目標	48	48	48	49	50	国・県・市指定文化財の合計数	
			実績	48	48	48	48			
	種別	分類	達成率	100.0	100.0	100.0	98.0	-	コスト効率 低下	
	指標1単位当たりコスト（千円）			72.1	60.6	76.9	109.2	-		
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-	コスト効率 -	
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-		

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	文化財の指定は、文化財保護法に基づくものであり、指定文化財の保護と活用も市が関与する必要性がある。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	市の歴史を裏づけ、市の独自性や魅力を発信する上で、指定文化財の保護と活用を図ることには有効である。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	文化財の保護・日常管理は文化財所有者との協働によるもので、必要に応じて市から補助をすることで効率的に進めている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			

6 今後の方向性（Action）


事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）		
	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月） <input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）		
改善内容等			
改善により期待される効果			



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	文化財調査事業					コード	Ⅳ - 5 - (1) - ②										
SDG s							事業種別	<input type="radio"/> 国土強靱化地域計画									
								まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																
	中期成果																
国土強靱化計画 リスクシナリオ	8-4 地域文化																
	事業期間		H1 3 (2001) 年度 ~ R7 (2025) 年度		予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	1				
担当課	生涯学習課		主管課等長 西口 武雄			会計		款		項		目					
関係課					会計		款		項		目						
事業内容	市内に所在する各種文化財を分野ごとに調査を実施し、報告書にまとめて文化財保護・周知のための基礎資料を整備するとともに、調査成果をもとに各種普及書を作成する。																
対象	古文書、民俗、神輿・宮殿、考古資料、巨樹古木、仏像、社寺建築など																
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																
計画期間中の 主な取組	古文書調査・各種調査【R3(2021)年度～R7（2025）年度】 民俗調査【R3(2021)年度】、仏像調査【R4(2022)年度～R5（2023）年度】 宮殿・神輿調査【R4(2022)年度～R7（2025）年度】																

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	古文書調査（牧士川上家資料翻刻等）、宮殿・神輿調査（宮殿の詳細調査）	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト (Do②)

(千円)

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計 A		1,979	2,302	1,698	1,263	1,229	2,991
財源内訳	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他				207		
	一般財源	1,979	2,302	1,698	1,056	1,229	2,991
正職員	人数	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
	人件費 C	2,018	2,098	2,219	2,219	2,219	2,522
総コストD=A+C D		3,997	4,400	3,917	3,482	3,448	5,513
うち人件費（正職員+会計年度）		2,018	2,098	2,219	2,219	2,219	2,522
市民1人コストD/人口（円）		63.69	70.18	62.81	55.97	55.42	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 5 - -1 - ②

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	目標									
	実績									
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1 単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-
②	目標									
	実績									
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1 単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	市の文化財保護行政上、市内にどのような文化財が存在するか調査することは必要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	各分野の調査を着実に推進している。市内の文化財への調査は国・県・民間で行っておらず、市で行うことは有効と評価した。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	事業は必要に応じて外部有識者に依頼しており、効率的に調査が実施できている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			



6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止    (    年度    ) <input type="checkbox"/> 終了    (    年度    )			
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	(実施時期：	年    月)
		<input type="checkbox"/> その他	(実施時期：	年    月)
改善内容等				
改善により期待される効果				

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	埋蔵文化財・文化財記録・保護事業			コード	Ⅳ - 5 - (1) - ③										
SDGs				事業種別	<input type="radio"/> 国土強靱化地域計画										
					<input type="radio"/> まち・ひと・しごと創生総合戦略										
求める成果	長期成果														
	中期成果														
国土強靱化計画 リスクシナリオ	8-4 地域文化														
事業期間	S25(1950)年度 ~ R7(2025)年度			予算科目	会計	一般	款	9	項	4	目	1			
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄				会計		款		項		目				
関係課				会計		款		項		目					
事業内容	埋蔵文化財包蔵地内での試掘・確認調査を実施し、記録保存を行い、その成果を埋蔵文化財調査集報にまとめる。また、各種文化財の測量を行う。														
対象	埋蔵文化財包蔵地・開発事業者・土地所有者														
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他														
計画期間中の 主な取組	試掘・確認調査の実施、出土遺物の整理【R3(2021)年度～R7(2025)年度】 埋蔵文化財調査集報の作成【R3(2021)・R5(2023)・R7(2025)年度】 各種文化財の測量【R4(2022)・R6(2024)年度】														

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	埋蔵文化財包蔵地内での試掘・確認調査の実施 2件 出土遺物の整理作業、文化財（史跡）の測量	
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目

3 コスト (Do②)

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	856	761	932	1,119	899	1,409
	うち会計年度任用職員等経費						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
	その他						
一般財源		856	761	932	1,119	899	1,409
正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費	C	1,345	1,398	1,479	1,479	1,681
総コストD=A+C	D	2,201	2,159	2,411	2,598	2,378	3,090
うち人件費（正職員+会計年度）		1,345	1,398	1,479	1,479	1,479	1,681
市民1人コストD/人口（円）		35.08	34.44	38.67	41.76	38.23	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 5 - -1 - ③

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	目標									
	実績									
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-
②	目標									
	実績									
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業の二ーズ・実施意義	計画時と変わらない	開発に伴う埋蔵文化財の調査は文化財保護法に基づく業務であり、市で実施することが必要な業務である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	市内の埋蔵文化財についての情報を把握する市で行うのが最も有効性が高い。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	工事内容に応じ埋蔵文化財への対処方法を変え、重機提供など受益者負担も状況に応じて求めており、市蔵入に反映されないが効率的に実施している。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			

6 今後の方向性 (Action)



事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）
	<div><div><input type="checkbox"/> 対象の再設定 <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等） <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し <input type="checkbox"/> その他</div><div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div><div>(実施時期： 年 月)</div></div></div>
改善内容等	
改善により期待される効果	



令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	市史編さん事業										コード	Ⅳ - 5 - (1) - ④									
SDG s	<div><div></div><div></div></div>										事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																				
	中期成果																				
	短期成果																				
国土強靱化計画 リスクシナリオ																					
事業期間	S54(1979)年度 ~ R7(2025)年度										会計	一般	款	9	項	4	目	1			
担当課	生涯学習課 主管課等長 西口 武雄										予算科目	会計		款		項		目			
関係課	総務課 秘書課										会計		款		項		目				
事業内容	歴史公文書の収集、研修会への参加、各種情報収集を行う。																				
対象	市内の文化財、文化財を伝承する市民、市で作成・廃棄される行政資料。																				
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																				
計画期間中の 主な取組	歴史公文書の収集【R3(2021)年度～R7(2025)年度】 研修会への参加【R3(2021)年度～R7(2025)年度】 各種情報収集【R3(2021)年度～R7(2025)年度】																				

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	歴史公文書の収集20箱・研修会への参加4回・各種情報収集																
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目						

3 コスト（Do②）

（千円）

区分		R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R6(2024)年度決算	R7(2025)年度計画
事業費計	A	44	48	50	91	44	129
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B					
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源	44	48	50	91	44	129
正職員	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費	C	673	699	740	740	841
総コストD=A+C		D	717	747	790	831	970
うち人件費（正職員+会計年度）			673	699	740	740	841
市民1人コストD/人口（円）			11.42	11.92	12.66	13.35	12.60
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 5 - -1 - ④

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	白井市を「知る」上で市史は必要であり、その事業は白井市で行うことが最も適格であることから。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	計画通り歴史公文書の収集を実施し資料収集することができたことから。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	必要最低限の事業を実施し、可能な部分は外部委託していることから。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）	
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し（実施時期： 年 月）
		<input type="checkbox"/> その他（実施時期： 年 月）
改善内容等	現基本計画期間は現状のまま継続し、次期基本計画（R8～）策定の際に事業の取扱いについて検討するものとして令和2年10月の行政経営戦略会議で決定している。	
改善により期待される効果		

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要（Plan）

事業名	郷土資料館展示・教育普及事業										コード	Ⅳ - 5 - (2) - ①										
SDG s												事業種別	国土強靱化地域計画									
													まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																					
	中期成果																					
	短期成果																					
国土強靱化計画 リスクシナリオ																						
事業期間	H6(1994)年度		～	R7(2025)年度		会計		一般	款	9	項	4	目	8								
担当課	文化センター		主管課等長		高花 宏行		予算科目		会計		款		項		目							
関係課	生涯学習課						会計			款		項		目								
事業内容	常設展示により、市の指定文化財、郷土資料及び歴史情報を展示公開する。また、郷土史講座、古文書講座、体験教室を開催する。																					
対象	市民																					
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の 主な取組	・常設展の実施 ・郷土史講座、古文書講座、体験教室の開催																					

2 取組状況（Do①）

R6年度 取組状況	常設展示・開館30周年記念企画展の公開を行い、開館30周年記念企画展図録を発行した。また、古文書講座、体験教室、郷土史講座を開催した。 開館282日 来館者数19,621人、古文書講座（入門編、初級編、中級編全10回延べ164人）まが玉づくり7回、網布づくり2回、来福帳づくり1回、和本づくり1回、企画展講演会1回、ギャラリートーク4回、郷土史講座1回実施。																		
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目								

3 コスト（Do②）

（千円）

区分		R3（2021）年度決算	R4（2022）年度決算	R5（2023）年度決算	R6（2024）年度当初予算	R6（2024）年度決算	R7（2025）年度計画
事業費計	A	551	689	389	1,886	1,321	1,568
	うち会計年度任用職員等経費						
	国県支出金						
	受益者負担	B	95	152	70	282	66
	地方債						
財源内訳	その他						
	一般財源		456	537	319	1,604	1,255
正職員	人数	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.50
	人件費	C	4,708	4,894	5,178	5,178	4,204
総コストD=A+C		D	5,259	5,583	5,567	7,064	6,499
うち人件費（正職員+会計年度）			4,708	4,894	5,178	5,178	4,204
市民1人コストD/人口（円）			83.81	89.06	89.26	113.53	104.45
受益者負担率B/D（%）			1.81	2.72	1.26	3.99	1.02

事業コード Ⅳ - 5 - -2 - ①

4 指標の推移（Check①）

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価（Check②）

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	郷土資料館は郷土の歴史文化を保護し発信する施設であり、市民の教育・文化の発展に寄与するために不可欠である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	常設展示・各種講座・体験教室を行い、幅広い年代に白井の歴史・文化を伝えることができています。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	郷土資料を扱う専門的な業務がほとんどであり、展示物の作成や講座等の運営を独自でおこなっているため。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			


6 今後の方向性（Action）

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止   (   年度   ) <input type="checkbox"/> 終了   (   年度   )				
	→	<input type="checkbox"/> 対象の再設定	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等）	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> 特定財源の見直し	(実施時期：	年	月)
		<input type="checkbox"/> その他	(実施時期：	年	月)
改善内容等					
改善により期待される効果					

令和7年度（2025年度）事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 （ 2024 ） 年度

1 事業概要 (Plan)

事業名	市民学芸スタッフ古文書修補活動事業										コード	Ⅳ - 5 - (2) - ②										
SDG s												事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略									
求める成果	長期成果																					
	中期成果																					
										短期成果												
国土強靱化計画 リスクシナリオ																						
事業期間	H18(2006)年度 ~ R7(2025)年度										会計	一般 款 9 項 4 目 8										
担当課	文化センター 主管課等長 高花 宏行										予算科目	会計	款 項 目									
関係課											会計	款 項 目										
事業内容	修補技能者（市民学芸スタッフ）と協働して古文書の修補作業を行う。また、修補技能の継承に向けて修補技能者（市民学芸スタッフ）を育成する。																					
対象	市民学芸スタッフ古文書修補活動事業																					
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他																					
計画期間中の 主な取組	・古文書の修補活動の実施 ・修補技能者（市民学芸スタッフ）の育成																					

2 取組状況 (Do①)

R6年度 取組状況	古文書の修補活動の実施 新規市民学芸スタッフの育成を行った。 活動日数71日、修補枚数46点（145枚）																			
改善策 取組状況	前年度評価に伴う改善項目										その他改善項目									

3 コスト (Do②)

(千円)

区分		R3 (2021) 年度決算	R4 (2022) 年度決算	R5 (2023) 年度決算	R6 (2024) 年度当初予算	R6 (2024) 年度決算	R7 (2025) 年度計画
事業費計	A	81	2	31	160	97	618
	うち会計年度任用職員等経費						535
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
	一般財源	81	2	31	160	97	618
正職員	人数	0.60	0.60	0.60	0.60	0.50	0.30
	人件費 C	4,035	4,195	4,438	4,438	3,699	2,522
総コストD=A+C D		4,116	4,197	4,469	4,598	3,796	3,140
うち人件費（正職員+会計年度）		4,035	4,195	4,438	4,438	3,699	3,057
市民1人コストD/人口（円）		65.60	66.95	71.66	73.90	61.00	
受益者負担率B/D（%）							

事業コード Ⅳ - 5 - -2 - ②

4 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明	
①	修補活動参加者	人	目標	10	10	10	10	10		市民学芸スタッフとして認定証を授与し、活動している人数。
			実績	7	8	9	9			
	種別	分類	達成率	70.0	80.0	90.0	90.0	-	コスト効率	向上
	指標1 単位当たりコスト（千円）			588.0	524.7	496.6	421.7	-		
②			目標							
			実績							
	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-	コスト効率	-
	指標1 単位当たりコスト（千円）			-	-	-	-	-		

5 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市の歴史を裏付ける資料である古文書を良好な状態で残していくことは、先人の様々な経験と知識を未来へと伝える重要な事業であり、市にとって欠かせないことである
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
	実施主体	市が実施主体となる必要がある	
有効性	対象の範囲	適切である	市民学芸スタッフによる修補活動を実施することで、市民協働での活動となるとともに、後世への技術の伝承という役割を果たしている。
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
	達成度	目標に近づいている	
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
効率性	実施手法・運営主体	適切に設定されている	市民学芸スタッフによる修補活動は、市民協働のボランティア活動であり、コストが抑えられている。
	受益者負担	適切である	
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	
施策内会議での意見等			

6 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止（ 年度 ） <input type="checkbox"/> 終了（ 年度 ）	
	<input type="checkbox"/> 対象の再設定 <input type="checkbox"/> 事業・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善（スケジュール等） <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 特定財源の見直し <input type="checkbox"/> その他	（実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月） （実施時期： 年 月）
改善内容等		
改善により期待される効果		